

委員長：山口順子（日本大学板橋）

担当理事：横堀将司（日本医科大学）

議題

報告1 昨年度委員会活動概要報告（資料1：Word 男女共同参画推進委員会活動報告）

→社員総会で報告させていただきました内容になります。

報告2. ご依頼のあった業務（調査依頼、神経外傷学会パネルへのご招待など）の件

① 調査依頼 日本医学会 （資料2：調査依頼状、資料3：Excel 設問と回答）

→資料2, 3が調査依頼と回答内容になります。

3. 報告&審議：

座長のつとめ方の冊子作製、周知の件（資料4：はじめての座長ミニ講座 資料5：座長のてびきドラフト）

報告→第52回日本救急医学会学術集会の男女共同参画推進ラウンジで

座長のつとめ方について講演を行いました。

審議→座長の手引きのドラフトを書いてみました。委員の皆様方、座長の手引きを日本救急医学会から出すことについてご賛同いただけますでしょうか？委員の皆様方から反対がなければ、理事会へ上申し、座長の手引きの発行に向けて行動したいと思います。

結果：異議がなかったため、座長の手引きの発行に向けて理事会へ上申したいと思います。

4. 審議 第53回委員会企画の件（資料6 53救急セッション構成表案）

審議→第53回日本救急医学会総会のプログラム委員会委員の番匠谷先生（前男女共同参画推進委員会委員）よりご連絡があり、2月末までにダイバーシティ推進に関する企画を提出するよう依頼を受けているということでした。委員会企画と添付資料6にありますセッションを合同で行うことで、この企画は確実に採択されるということでした。

これまで委員会企画を委員会独自で提出してきましたが、第50回は記念大会につき、すべての委員会企画はなく、第52回総会におきましては、ダイバーシティ推進を前面に強く打ち出す内容で、提出させていただきました委員会企画は、単独では採択されず、複数委員会等との合同企画となりました。現在番匠谷先生を通じて、大会長へ、これまで指導医セミナーにさせていただいてきた背景と、継続的に総会で我々の活動の話題提供がなされることが必要である旨お伝えしておりますが、前述のとおり、資料6の企画について男女共同参画推進委員会と合同セッションという形をとることで、第53回総会での採択を目指したいと考えます。ご賛同いただけますと、幸いです。

合同企画についてご賛同いただけるようであれば、

座長については、番匠谷先生より、現在の男女共同参画推進委員会委員の中嶋麻里先生（若手推進+委員会企画+開催元）のご推薦がありました。こちらについても皆様方から自薦、他薦ないようでしたら、中嶋麻里先生を委員会からの座長として推薦させていただきたく存じます。

結果：2名の委員よりコメントがありました。要点として、男性演者が不在である点についての懸念でした。本件はセッションのオーガナイザーをされている番匠谷先生を通じてお伝えしまして、2月末提出案には、男性演者を加えていただく方向となりました。また当委員会より座長として中嶋麻里先生にご担当いただくこととなりました。

また本企画で必ずしも反映できないテーマについては、ラウンジで行ったらどうかというご意見を伺いました。貴重なご意見ありがとうございます。この件含めて、追って第2回男女共同参画推進委員会を開催したいと思います。

参考) 第 53 回委員会企画についていただきました委員のご意見 (匿名化しました)

1)

座長の手引き、素晴らしいです。私も座長する前に、読みたかったです。

委員会企画ですが、〇〇先生のメールにもありましたが、個人的には、全て女性演者という点が気になりました。もともと女性のためのという位置づけだった委員会であることは理解していますが、現在の状況 (男女共同参画、多様性を重視) を踏まえますと、男性演者もいた方が良いのではないかと思います。

企画趣旨は下記のようになっていますが、いまのものと、「女性救急医をライフワーク・・・」だと思います。

救急医をライフワーク (一生をかけてやり遂げたい仕事) と言える人は多くなく、みんな不安を抱えている。多様なキャリア形成が出来る土台があれば、その不安を軽減できるのではないか。様々な成功体験を基に、一般化していくためには何が必要かを共に考え、多様性の実現する未来に繋げるセッションにしたい。

2)

委員会企画の件も良いと思います。

ただ、指定演者が全員女性であり、ライフイベント関連が多い印象です。

いかに、発表者や議論がエネルギッシュな女性救急医が対象ではないことを伝えないと限られた聴衆にしか刺さらないかもしれません。

そんななか、救急医全体のキャリアという部分を考えると、セッションというよりはラウンジ企画としてもっとキャリアについてのディスカッションや宣伝ができたらいいなあとも前回のラウンジで考えていました。

ざっくりとしたイメージでは、外傷外科医、女性ライフイベント、ER 医、留学、など HP 内にあるようなカテゴリで、各カテゴリで 3-4 人のキャリアパス (研修の具体的内容) を紹介してもらおう。

発表者には、施設の宣伝も可能というインセンティブをつけるとリクルートにつながる。

聴衆は、若手はキャリア相談と施設を知ることができる、ベテランは他施設の取り組みを知ったり、集まった若手をリクルートすることもできる。

いわゆる、ジョブフェア的なイベントですね。

学会のセッションだと、壇上とフロアでディスカッションできにくい雰囲気もありますし、そもそもアカデミックな議論ではないので、ラウンジ企画の方がマッチして、テーブルを囲んでざっくばらんに議論できるのが魅力になるかもしれません。他委員会を巻き込めるかもしれません。

あくまでもアイデアのブレインストーミングです。